

製品・サービス情報が満載!「フルノ製品情報サイト」

国内外の製品・サービス情報を総合的にご紹介する「フルノ製品情報サイト」では、多種多様な顧客ニーズにきめ細かく対応する情報提供を行っています。

特長1 市場や製品群ごとにコンテンツ内容を整理

当社の製品・サービスに関心をもたれたユーザー様が必要な情報を入手しやすいサイト構成となっています。

特長2 顧客ニーズに応じた情報提供を強化

製品機能紹介に加え、技術情報やサービス・サポート情報、活用事例など、各種コンテンツを充実させています。



製品の操作方法なども、動画などで分かりやすく解説しています。



2011年11月には、日本語・英語に続き、中国語版のウェブサイトの新設しました!

「フルノ製品情報サイト・中国語版」www.furuno.com/cn/ 中国市場の需要に合わせた製品ラインナップを掲載しています。

株主メモ

事業年度 毎年3月1日から翌年2月末日まで
 定時株主総会 毎年5月開催
 基準日
 定時株主総会 毎年2月末日
 期末配当金 毎年2月末日
 中間配当金 毎年8月31日
 その他、必要がある場合はあらかじめ公告いたします。

公告の方法 電子公告 (http://www.furuno.co.jp)
 ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。

単元株式数 100株
 上場金融商品取引所 株式会社大阪証券取引所 市場第一部

株主名簿管理人および特別口座の口座管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
 同連絡先(お問い合わせ先) 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 ☎0120-288-324 (ご利用時間:土・日・休日を除く9:00~17:00)
 お取扱窓口 お取引の証券会社 (特別口座管理の場合は、特別口座管理機関のお取扱店)
 特別口座管理機関お取扱店 みずほ信託銀行株式会社 みずほインベスターズ証券株式会社
 未払配当金のお支払 上記お取扱店およびみずほ銀行株式会社 (みずほインベスターズ証券株式会社では取次のみとなります)



表紙絵画:須磨はじめ
 マリンギアライター。自ら描く著書の挿絵から水彩画の世界へ。プレジャーボートを素材にした作品が多い。



古野電気株式会社
<http://www.furuno.com>

株主通信

2011年3月1日~2012年2月29日

証券コード 6814



スタートフィッシング!(JBTK / 串本カジキ釣り大会)

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。第61期連結会計年度(2011年3月1日から2012年2月29日まで)が終了いたしましたので、ここにその事業概況と今後の見通しについてご報告いたします。

成長市場の開拓や販売拡大に取り組み増収を達成しました

当連結会計年度の世界経済は、欧州の債務問題への不安が根強く、総じて低調に推移しました。米国では企業業績や雇用がもち直し、個人消費が回復しつつあるものの、欧州では依然雇用が低迷し、個人消費も伸び悩んでいます。欧州向けの輸出が減少したことで、アジア経済の成長スピードにも陰りが見られました。一方わが国は、雇用・所得の底ばいは続いています。個人消費、生産活動ともに回復傾向にあります。

当社グループの主要マーケットである船用事業の分野においては、商船市場の新船建造、リプレース(換装)の需要が伸び悩む反面、プレジャーボート市場で小型艇を中心とした需要の回復が進みました。

このような状況の下、当社グループは成長市場の開拓や販売拡大に積極的に取り組み、船用事業では漁業市場向けを中心に売上を伸ばしました。また産業用事業の分野でも、需要が拡大している医療機器の工場拡張・集約を進めて増産体制を整え、売上の大幅な増加に対応しました。その結果、売上高は773億円、経常利益は21億円と、それぞれ前期を上回りましたが、訴訟関連費用などにより、当期純損失は8億200万円となりました。

新たな需要の取り込みに努めるとともに事業領域の拡大も図ります

欧州の債務問題が解決しない現状では、世界経済の先行きは依然として不透明です。欧米経済の低成長が続けば、これまで新造船の高水準の受注で相応の仕事量を確保してきた船用事業の分野においても、いずれ影響が表れてくることが予想されます。そのため今後は、生産効率のさらなる改善によって収益力を強化するとともに、リプレース需要や新規規制の施行に伴う需要の取り込みを積極的に進めます。加えてプレジャーボート市場に新商品を投入して販売拡大を進める一方、衛星通信事業など魅力ある商品やサービスの創出に努め、事業領域の拡大にも取り組んでいきます。

産業用事業では、需要の拡大が続く医療機器(生化学自動分析装置)を筆頭に、ETC車載器、GPS機器のコストダウンと販売体制の強化を図り、事業競争力を確実に高めていきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともなお一層のご支援とご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

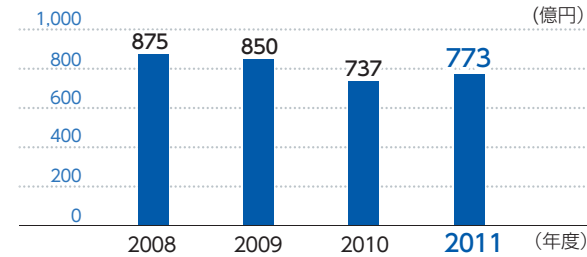
2012年5月



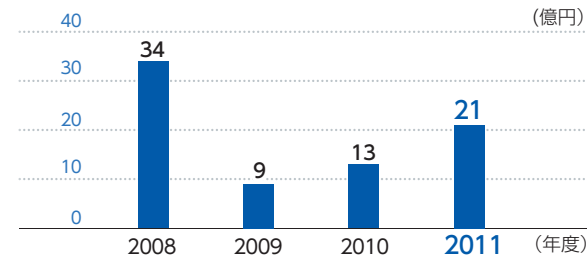
代表取締役社長
古野 幸男

連結業績ハイライト

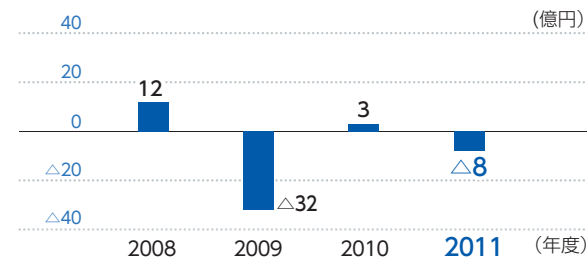
売上高



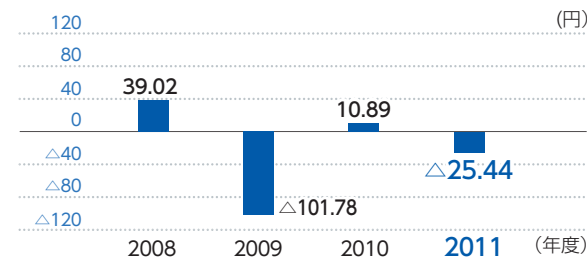
経常利益



当期純利益(△損失)



1株当たり当期純利益(△損失)



連結損益計算書の概要

(単位: 百万円)

科目	前期 2010年3月1日から 2011年2月28日まで	当期 2011年3月1日から 2012年2月29日まで
売上高	73,724	77,300
売上原価	50,042	52,624
売上総利益	23,682	24,675
販売費及び一般管理費	22,444	22,493
営業利益	1,238	2,182
経常利益	1,354	2,100
税金等調整前当期純利益	1,080	552
当期純利益(損失)	343	△802

連結貸借対照表の概要

(単位: 百万円)

科目	前期末 2011年2月28日現在	当期末 2012年2月29日現在
流動資産	55,054	57,094
固定資産	17,757	16,488
資産合計	72,812	73,582
流動負債	24,316	27,739
固定負債	14,991	14,715
負債合計	39,307	42,454
純資産合計	33,504	31,127
負債及び純資産合計	72,812	73,582

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位: 百万円)

科目	前期 2010年3月1日から 2011年2月28日まで	当期 2011年3月1日から 2012年2月29日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,185	485
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,199	△2,281
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,191	1,483
現金及び現金同等物の期末残高	12,807	11,979

※連結財務諸表の記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

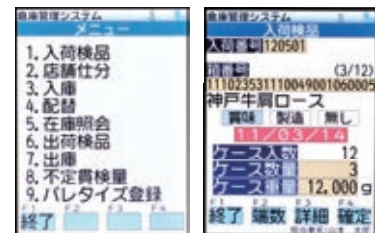
【海底から宇宙まで】
FURUNO製品紹介

06

無線ハンディターミナル

端末でのデータ収集と情報の一元管理を実現。
商品の入出荷管理やピッキング業務などに活用されています。

無線ハンディターミナルは、商品やラベルについてのバーコードをスキャンしてデータを収集し、情報を一元管理できる機器です。手軽に持ち歩ける携帯端末として、物流・流通業界や病院、自治体など、幅広い分野で業務の効率化やスピードアップに役立っています。当社グループの株式会社フルノシステムズでは、バーコードや二次元バーコードを読み取るタイプから、離れた距離のバーコードも読み取るタイプ、さらに冷凍倉庫や水に濡れやすい環境でも機能するタイプまで、多様な機種を取り揃えています。導入実績は4,000カ所を超え、多くのお客様にご採用いただいております。



明るくても暗くても見やすいカラー液晶

無線ハンディターミナル finpad 730i

バーコードで単品管理ができるレーザーキャナを搭載。防塵防水処理を施し、-30℃~40℃と幅広い温度環境に対応しています。冷凍倉庫などの厳しい環境下でも約11.7時間の長時間運用が可能です。



【S・P・Cテクノロジー】

Sensing Technology (センサー技術)、Processing Technology (信号処理/情報処理技術)、Communication Technology (情報通信技術)という古野電気 of 事業にとって不可欠な3つの技術。この頭文字をとって名づけた「S・P・Cテクノロジー」が古野電気のコアコンピタンスです。

船用事業

売上高 593億4,400万円

主な製品

- 航海機器
- 無線通信装置
- 漁労機器



5.7型2周波カラー液晶魚群探知機
【FCV-627】

- 漁業市場向けの売上がアジアを中心に増加しました。
- プレジャーボート市場向けは、為替レートで円高が進行したことなどにより、欧米市場を中心に売上が減少しました。
- 商船市場向けの売上は、中国や北米で増加した一方で日本や欧州では減少し、市場全体では微減となりました。

産業用事業

売上高 146億1,300万円

主な製品

- GPS関連機器
- 医療用機器
- ETC車載器



ETC車載器 (アンテナ分離型) 【FNK-M07T】

- 医療用機器は大型生化学自動分析装置の販売が好調に推移し、売上が大幅に増加しました。
- ETC車載器も売上が増加しました。
- GPS関連機器はカーナビゲーションシステム搭載モジュールやGPS周波数発生器が低調で、売上が減少しました。

その他

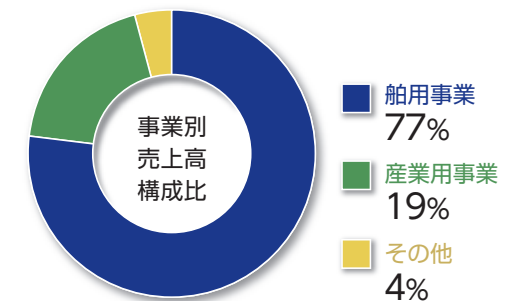
売上高 33億4,100万円

主な製品

- 航空機用電子装置
- 無線ハンディターミナル
- 無線LAN機器



無線LANアクセスポイント
【ACERA 801】



※当社グループは、当期から事業別の区分を変更いたしました。

マルチタッチで航海を より自由に、より快適に

プレジャーボート向け航海機器「NavNet TZtouch」新発売

ネットワーク対応航海機器「NavNet™」シリーズの最新機種「NavNet TZtouch」を発売しました。プレジャーボート向けの航海電子機器で初めて画面上でのマルチタッチ操作を実現。無線LANでのインターネット接続を可能にするなど、新たな機能を付加しています。

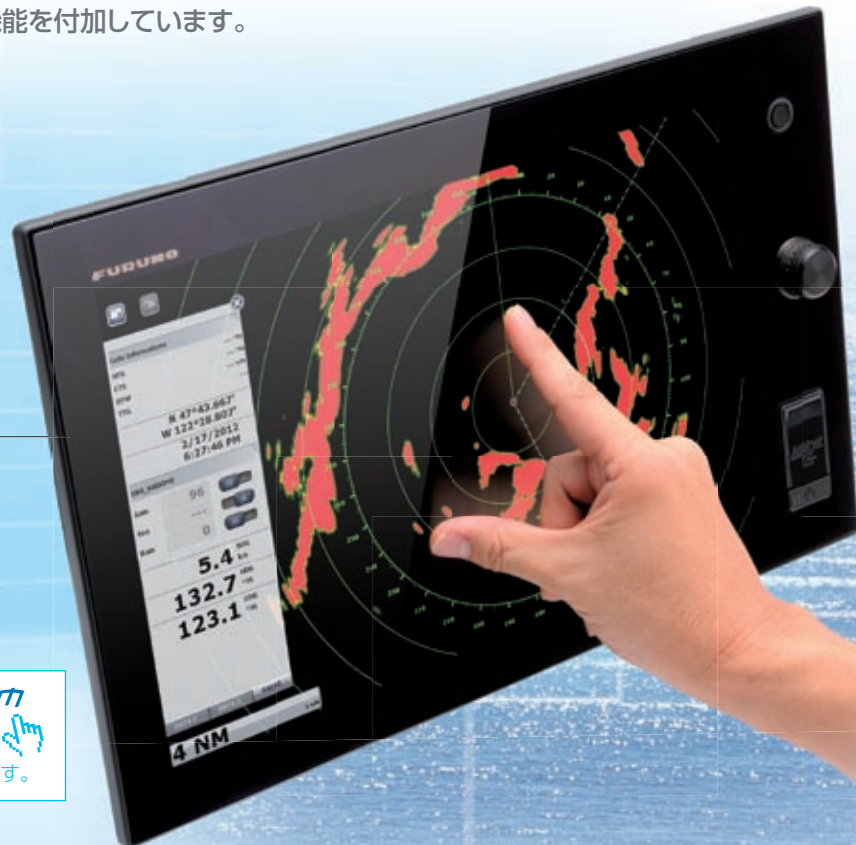
マルチファンクションディスプレイ



スマートフォンなどで普及しつつあるマルチタッチスクリーン機能を搭載した最新鋭のネットワークシステム。船舶用レーダーやデジタル魚群探知センサー、AISセンサーなどの各種機器を選択して一元活用することができます。

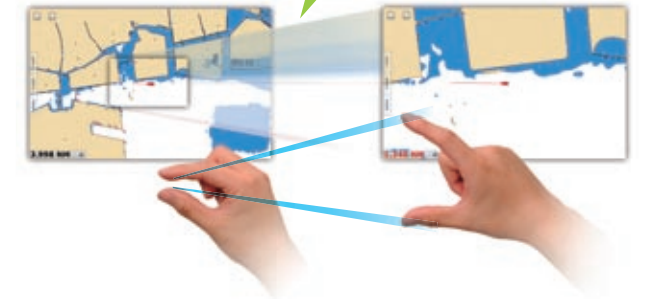
WWW.NAVNET.COM

製品情報サイトでは、新機能や操作方法を詳しく動画で解説するコンテンツなどをご覧ください。



1 業界初! 簡単マルチタッチ操作

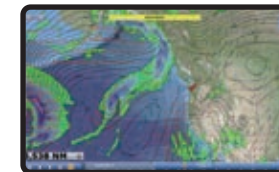
精細なグラフィック表示が美しい薄型ワイド液晶を指先でタッチするだけで、簡単に操作が可能。チャート(海図)の拡大・縮小、スクロール、回転などを驚きの速度で思いのままに行えます。また、直射日光下でも抜群の視認性を確保し、屋外でも快適に操作できる性能を備えています。



スクロール、拡大縮小も指先で自在に

2 スマートフォン・タブレット端末に対応

無線LANインタフェースに対応しているため、水深などの航海情報をワイヤレス通信で伝送し、スマートフォンなどの携帯端末*で確認できます。さらに、インターネットを介して、気象海況情報や位置情報をリアルタイムに入手することも可能です。



気象海況情報



位置情報

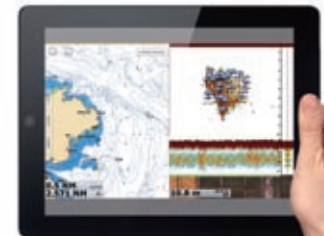
*iPhone/iPad/iPod Touchのみ対応
「NavNetリモートビューア」は、iPadのみ利用可能



NavNetナビゲータ

NavNet TZtouchから送信される多彩な航海情報を思いのままに把握することができます。

無線LANで航海情報を手元で確認



NavNetリモートビューア

iPad端末からNavNet TZtouchの画面を直接確認できる専用アプリです。

限りある水産資源の 保全を目指して

魚体長探知の実現と、魚種判別への挑戦

将来にわたって漁業・水産業を持続するために、限りある水産資源を保全しながら、効率的に漁獲することが求められています。フルノは魚体長・魚量の計測技術の研究開発において世界の先端を走りながら、魚種識別技術の高度化にも挑んでいます。

高性能な魚群探知機の開発で 魚の体長や海底の形状も把握可能に

業界に先駆けてフルノが開発したのが、魚の体長を高精度に計測できる魚群探知機「FCV30」です。超音波探知技術「スプリットビーム方式」を採用し、魚群の密集状況や動向はもちろん、魚の体長までわかるようになりました。また、船体が揺れても探知方向が変動しない「動揺補正機能」を世界で初めて搭載し、より正確な計測を可能にしました。魚群や海底の形状も把握できるため、海洋資源調査への活用も期待されています。

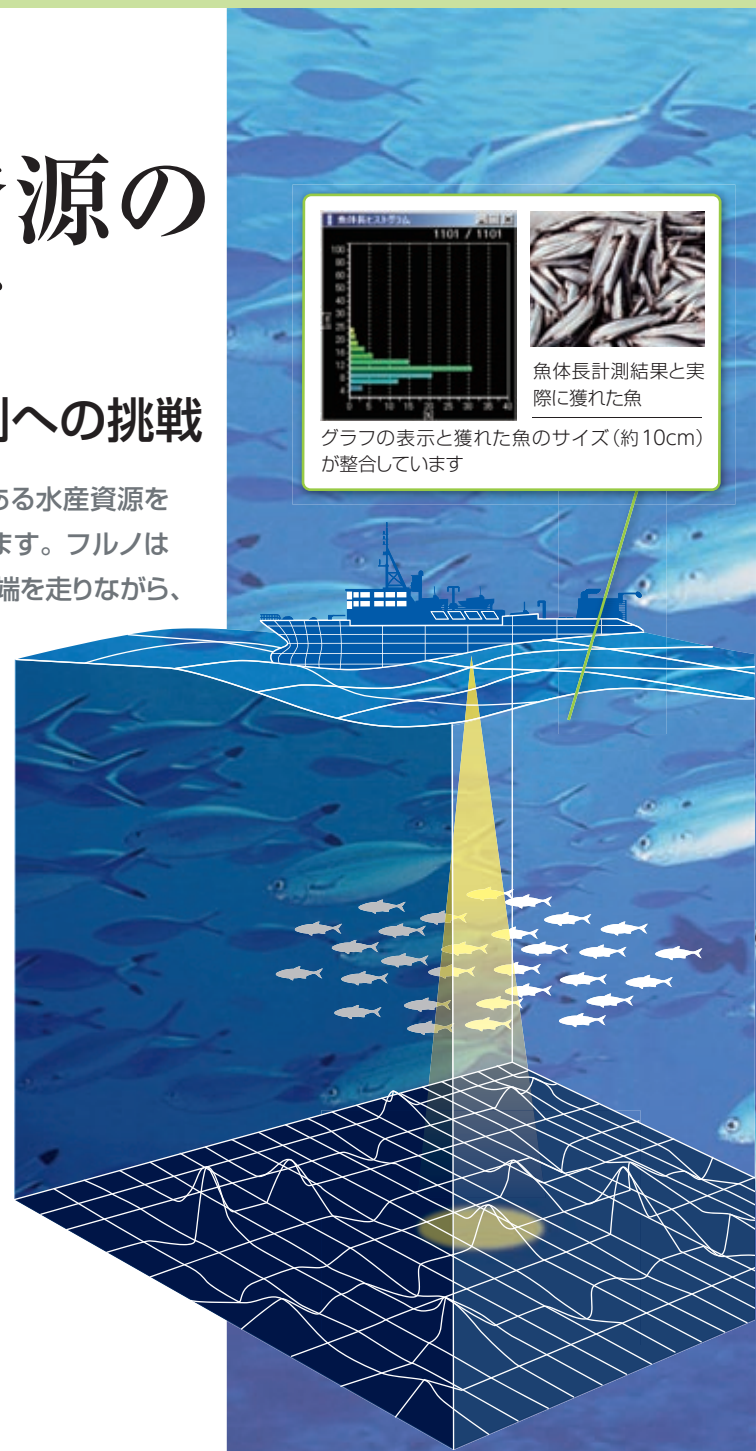
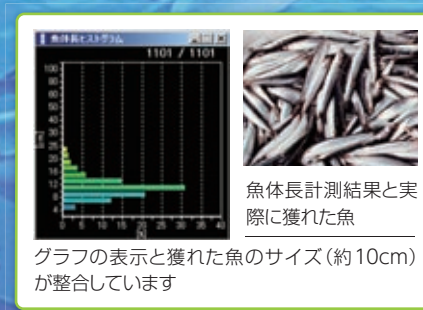


動揺補正がない場合



動揺補正がある場合

船体が揺れても探知する方向が変動しないようにコントロール



世界初! サバとニシンを見分ける技術を実用化

漁業資源保護のため、漁船・魚種ごとに漁獲量が制限されている北欧を中心に、「魚種を判別したい」というニーズは数多くあります。そこで、北欧の漁船に協力していただき、漁場で得られた魚群探知機のデータと、実際に獲れた魚の結果を照合。魚群探知機の映像に、魚種の生物学的な特徴が現れる特定のパターンを発見し、世界で初めてサバとニシンを判別する技術の実用化に成功しました。

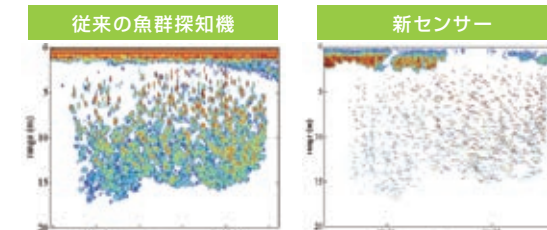


実験機をチェックするFNAS(フルノノルウェー)のエンジニア(左)と、サバ漁の風景(右)

イルカに学び、 計測・識別技術のさらなる高度化へ

科学に基づく資源管理型漁業を広めていくためには、今以上に計測できる魚種を増やすとともに、計測精度の向上も図らなければなりません。そのためフルノは、超音波を発して魚の種類を識別するイルカの能力を参考に、最先端技術「広帯域スプリットビーム方式」の開発に取り組んでいます。水産工学研究所、東北学院大学と連携し、日本の主要魚種であるアジ、サバ、イワシを対象に魚種識別、魚体長計測の高度化を進めています。

●カタクチイワシの魚群の探知画像



新センサーでは魚群中の1尾1尾の判別が可能に

開発者からのメッセージ

魚種の判別は、ニーズが高いテーマですが、漁業者向けには世界でもフルノしか実用化できていない難易度の高い技術です。当社も2007年に取り組み始め、新しいアイデアを付加しながら、アルゴリズムの精度向上に取り組んできました。

ニシンとサバは精度よく識別できるようになりましたが、それ以外の魚種判別のニーズにも応え、資源管理型漁業に貢献できるよう、日々研究を続けています。



魚種判別研究メンバー：
[前列左から] 王勇、白木里香、ジュブイ・ジェロム、大西由利子
[後列左から] 小河慎二、西森靖
FCV30開発リーダー：
[後列右] 佐藤隆宣

「フルノINSTレーニングセンター」をシンガポールに開設

2011年11月に「フルノINSTレーニングセンター シンガポール」を開設しました。同施設は、デンマーク（2005年に開設）に続き2拠点目のトレーニングセンターで、船種・船型に応じて順次搭載義務化が予定される電子海図情報表示システム（ECDIS）について、機種ごとに要求される研修を行います。

シンガポールは多くの海運会社や船舶管理会社が拠点を置き、近年、船員向けの教育サービスの需要が高まっており、トレーニングサービスを通じて船舶運航の安全性と効率性に寄与してまいります。



同センターでの研修イメージ

フルノ野球部が全国大会で準優勝

第56回電子通信軟式野球大会の全国大会で、当社の野球部が準優勝しました。2011年10月20日に行われた全国大会の決勝戦では、昨年の天皇杯東京代表の日本航空電子工業を相手に、緊迫した試合を展開。2回に1点、5回に3点を取られる

も、8回には1点を取り返す粘りを見せました。惜しくも1-4で敗れ優勝は逃しましたが、強豪相手に好試合を繰り広げたことが評価され、審判団より今年秋に東京ドームで開催される「蒼龍旗争奪実業団野球大会」に推薦していただきました。



日頃から練習を積み重ねた成果を試合で発揮することができました

古野電気野球部「ZEKE(ジーク)」

- 創部：1978年
- 部員数：28人

株式の概況/会社の概況

■株式の状況 (2012年2月29日現在)

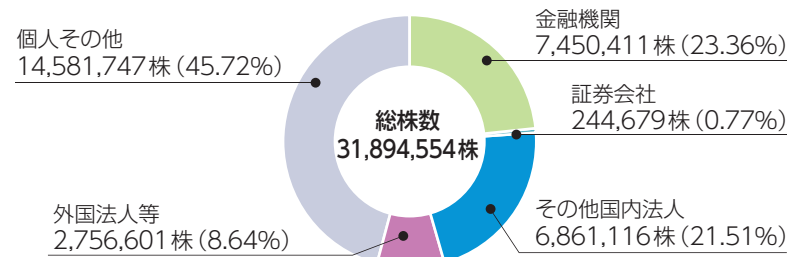
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	31,894,554株
株主数	5,340名

■大株主の状況 (2012年2月29日現在)

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
古野興産株式会社	4,697	14.89
第一生命保険株式会社	1,000	3.17
株式会社三菱東京UFJ銀行	992	3.15
古野電気取引先持株会	991	3.14
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	969	3.07
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 みずほ銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	942	2.99
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	732	2.32
エコ興産有限会社	560	1.78
古野清賢	540	1.71
S I X S I S L T D .	514	1.63

※持株比率は、自己株式350,312株を控除して計算しております。

■所有者別株式分布状況 (2012年2月29日現在)



※個人その他には、自己株式350,312株(1.10%)を含んでおります。

■会社概要 (2012年2月29日現在)

社名	古野電気株式会社
英文	FURUNO ELECTRIC CO., LTD.
設立年月日	1951年(昭和26年)5月23日
本社所在地	〒662-8580 兵庫県西宮市芦原町9番52号
電話番号	0798-65-2111(代表)
資本金	7,534百万円
主な事業	船用電子機器および産業用電子機器などの製造販売
従業員数	2,785名(連結) 1,673名(個別)
生産/研究開発拠点	三木工場・フルノINTセンター(西宮浜)・西宮事業所
国内販売拠点	兵庫・北海道・青森・宮城・千葉・東京・石川・静岡・愛知・三重・和歌山・鳥取・広島・山口・徳島・愛媛・高知・福岡・長崎・宮崎・鹿児島・沖縄
海外拠点	アメリカ・デンマーク・フィンランド・ギリシャ・オランダ・スペイン・フランス・イギリス・ノルウェー・ロシア・スウェーデン・ポーランド・ドイツ・中国・シンガポール

■役員 (2012年5月24日現在)

代表取締役社長	古野 幸男
専務取締役	森 博行
常務取締役	小池 宗之
常務取締役	井澤 亮三
取締役	和田 豊
取締役	石原 眞次
取締役	矮松 一磨
取締役	岡本 達行
取締役	西森 靖
取締役	大矢 智資
常勤監査役	坂井 譲
社外監査役	吉本 健一
社外監査役	小美野 廣行